

## 決算特別委員会

**問** 平成27年度の経常収支比率は94.5%で、26年度より若干改善したようだが類似団体と比較した場合、ランキングは。

**答** 類似団体は88あり、回答を得ている72団体中62位である。

**問** 公共施設整備基金は平成27年度に5億円積立て、総額で約25億円になっている。本庁舎は震度7で危険な状態と聞くが、建替えについての考えは。

**答** 公共施設整備基金は平成28年度当初でも1億円、9月補正で4億円を積立て、約30億円となっている。本庁舎を建替えるには60〜70億円必要となる。起債としては、単独分の75%を借りることができると。

**問** 選挙の投票所を見ると、まだバリアフリーとなっていないところがある。投票率にも影響してくると思うが。

**答** 現場の声を聞き、工夫は凝らしているが、十分とは言えない。現在の場所でのよいのか、どういった工夫ができる

のか洗い出し検討したい。

**問** 平成27年度の新規事業として超小型モビリティ事業があるが、事業効果の検証は。

**答** 昨年10月に運行を開始し、半年間で122回の利用があった。検証を続けたい。

**問** 学校施設整備計画策定業務委託料で約2100万円の支出をし、建物の老朽化等の実態調査を行っているが、今年度は何に重点をおくのか。

**答** 計画がほぼでき上がってきており、8月末から4週間の期間にわたり、パブリックコメントを実施しているところである。ご意見に基づき修正を加え、教育委員会議と総合教育会議等に諮った上で、本計画を仕上げていきたい。

**問** 八木札の辻交流館管理運営費について、昨年度の貸館としての利用実績は、51件、638人で、それに伴う収入は約5万2千円である。担当課は、この利用方法で満足しているのか。

**答** 読書会やフラダンス、英語教室など複数回利用があるより利用していただけのように努力をしたい。

**問** 本市の介護保険料は、県下12市の中でも安く抑えられ

ている。他市に比べ認定が厳しいとも聞くが。

**答** 本市では12名の調査員により直接調査をし、連絡会や研修会を開催し、適正な調査を行っている。審査会においても、研修等を重ね等しい判定ができるよう取り組んでおり、適正に認定している。

### 決算特別委員会<10名で構成>

委員長  
大北かずすけ

副委員長  
西川 正克

委員  
森下みや子・奥田 寛  
細川 佳秀・榎本 利明  
高橋 圭一・廣井 一隆  
河合 正 大保由香子



## 平成27年度決算概要

会計区分	予算額	決算額		執行率		
		歳入	歳出	歳入	歳出	
一般会計	472億2,410万8,850円	443億8,418万6,904円	420億1,428万3,949円	94.0%	(91.9%) 89.0%	
特別会計	国民健康保険	160億1,333万円	160億1,521万8,074円	158億9,960万5,615円	100.0%	99.3%
	後期高齢者療養	13億5,880万円	13億3,327万9,980円	13億2,941万9,180円	98.1%	97.8%
	介護保険	85億1,138万5,000円	76億2,848万123円	72億7,385万7,529円	89.6%	85.5%
	公共下水道事業	46億268万1,720円	39億1,872万67円	40億757万4,005円	85.1%	(93.6%) 87.1%
	駐車場事業	1億8,180万円	1億8,433万1,613円	1億7,336万8,143円	101.4%	95.4%
	住宅新築資金等貸付事業	7,986万8,000円	2,876万7,891円	7,055万9,186円	36.0%	88.3%
	墓園事業	7,110万円	6,746万1,145円	6,358万6,172円	94.9%	89.4%
	共有財産処分	48億7,530万円	48億9,163万144円	35億3,980万3,223円	100.3%	72.6%
合計	829億1,837万3,570円	784億5,207万5,941円	743億7,205万7,002円	94.6%	(91.7%) 89.7%	

※( )内の%は、翌年度への事業繰越を歳出決算に加算した場合を示す。